

弊社製品を安全にご使用いただくための注意事項

弊社製品の特長を生かし、安全にご使用いただくため、ここに記載する注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。お守りいただけない場合、負傷する危険や物理的損害が発生する恐れがあります。

⚠ 警告	死亡または重傷を負う可能性がある状態。
⚠ 注意	軽傷または中程度の傷害を負う可能性がある危険状態及び物的損害のみが予想されるような危険状態。

注) 文中の※印につきましては、用語説明をご参照ください。

トヨコネクタライト TC2-P 樹脂製 (トヨックスホース専用継手 適合ホースはご確認ください)

① 施工上の注意

- ⚠ 警告 取り付け作業は 10℃以上で実施してください。10℃以下での取り付け作業は樹脂の硬化により、一時的に負荷が大きく破損する可能性があります。
- 袋ナットの内面には、袋ナットの締付トルクを低減するために微量の潤滑剤を塗布しています。
- ホースカットの際は、ホース端面が垂直になるようにカットしてください。
- 継手付近にホースの曲げ応力がかからないように、ホース長さを十分確保してください。
- ⚠ 警告 ホースを挿入する際に、ホース挿入部表面に油等を塗らないでください。
ホース抜け発生の原因になります。
- ホース挿入部の根元までホースを挿入されている事をご確認ください。
- ホース挿入部は、刃物等で傷つけないでください。
- ⚠ 警告 管用ねじには、シールテープのみをご使用ください。
液状シール剤は種類により溶剤が含まれており、
樹脂が溶剤に侵され破損の原因になりますので使用しないでください。
シールテープは、漏れ防止やねじ部の破損対策のために
ねじの先端から 2 つ目のねじから 7 回程度巻きつけてください。
- ⚠ 警告 ニップルの管用ねじを設備にねじ込む際には、設備との隙間が 0.5mm 以上開けてください。隙間がなくなるまで締めると締めすぎにより管用ねじ部が割れる場合があります。
- 袋ナットは、すき間がなくなるまで締め上げてください。すき間がある状態でご使用されますと、流体漏れや、ホース抜けによるトラブルが発生します。また、締め付け時の “ モンキー (モーター) レンチ ” で滑りによるケガをしないようにご注意ください。
- 締め上げには モンキーレンチかスパナをご使用ください。
“ パイプレンチ ” は袋ナット傷つけるために使用しないでください。
- ⚠ 警告 樹脂製の袋ナットとニップルは、必要以上の締め過ぎに注意してください。
また、六角部をモンキーレンチかスパナですき間 (ガタつき) なく固定し、締め上げてください。
過度な締め付けや六角部とレンチのガタつきによる締め付けは、破損の原因になります。
- 取り付け、取り外し時には、継手の鋭利な部分でケガをしないようにご注意ください。
- 施工後に、継手部からの流体漏れが生じていない事を確認してからご使用ください。
また、破損又は変形等が認められた場合は、使用を控えてください。

② 使用時の注意

- トヨコネクタは、トヨックスホース専用のホース継手です。他社ホース及び適合ホース以外に接続された場合は、性能を十分に発揮、維持できない場合がありますので何ら保証はいたしません。
※ 適合ホースは、カタログまたはホームページでご確認ください。
- 使用温度は、0~60℃範囲内。使用圧力は、下表の範囲内でご使用ください。
※ 適合ホースのご使用は、下表の使用圧力範囲以内かつホース使用圧力範囲以内でご使用ください。

圧力 サイズ	圧力 (MPa)	
	23℃	60℃
φ 15	1.2	0.7
φ 19	1.0	0.6
φ 25	0.8	0.5

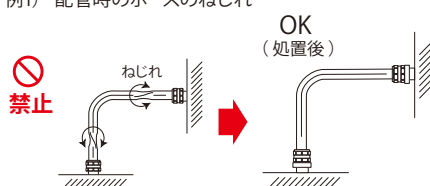
- 屋外で 사용하지 しないでください。太陽光により樹脂の強度が劣化し寿命が短くなります。また、屋内でも太陽光が当たる場所や紫外線滅菌装置の利用は避けてください。熱源の近くでの使用も避けてください。
- 負圧使用可能ホースを、負圧でご使用の場合、用途・条件 (温度・動き等) によってはご使用に出来ない場合があります。
- ねじ部に段差がありますので、サニタリー配管 (食品等) には使用しないでください。
- 継手付近で、ホースを極端に曲げた状態で使用しないでください。
ホースの※₃最小曲げ半径より大きい曲げ半径でご使用ください。
- ⚠ 警告 ホース内に流体を通しては、継手の組立・分解作業はしないでください。
流体漏れやホース抜け発生の恐れがあります。
- ご使用中は、継手部からのホース抜けや流体漏れが発生していないか始業点検・定期点検を実施してください。
- ⚠ 警告 下記の用途での配管には使用しないでください。
継手破損、ホース破裂、ホース抜けが発生する恐れがあります。
 - ・電磁弁配管等の配管内に衝撃圧がかかる配管
 - ・継手部に振動および衝撃が加わる箇所
 - ・常にホースに引っ張りの応力がかかる用途
 - ・ホースに帯電するような用途 (感電する危険があります)

10. 本製品は、全種類の流体に対応した製品ではありません。使用できる流体は、弊社ホームページ記載の継手流体接触面（PP 樹脂）の耐薬品データを参照の上、ご使用者様にて実使用の機器及び、ご使用条件で評価をお願い致します。特に、溶剤や界面活性剤などの有害な薬液は、樹脂を著しく侵して破損の原因になりますので、ご注意ください。また、使用方法、温度、圧力、濃度などの諸条件により、製品の耐久性（寿命）は異なります。
11. ホースや継手の内面以外を流体に接触させないようにしてください。ホース補強層に流体が浸透したり、継手部に流体が残り、雑菌の繁殖（付着）、ホースの劣化が発生する恐れがあります。また、外面に付着したほこりやホースの断片（補強材）、印字インクが混入する恐れがあります。

③ 継手の再使用とホース交換に関する注意

1. **△警告** トコネクタ TC2-P は樹脂製であるため、再利用はできません。
2. 継手とホースの交換時には、必ず双方の新品を使用してください。
3. **△警告** 本製品の流路（内面）の材質は、PP（ポリプロピレン）を使用しています。流体の種類によっては劣化や流体漏れが生じる場合があります。ご使用前に耐薬品データをご確認、または弊社お客様相談室にご相談ください。継手外面への流体物の接触に関しても同様にご確認ください。
4. ホースをねじった状態で配管・使用しないでください。ねじれがかかった場合、ホースの内部構造が変形し、「破裂」に至り、危険です。次の例を参考にして、適切な処置を講じてください。

例1) 配管時のホースのねじれ



例2) 曲げたときのねじれ

